

第 43 回 北海道高等学校新人剣道大会

兼 第33回全国高等学校剣道選抜大会北海道予選会

(簡易版)

期 日	令和6年1月12日(金)～13日(土)
場 所	千歳市開基記念総合武道館 千歳市あずさ1丁目3-1
主 催	一般財団法人 北海道剣道連盟
共 催	北海道高等学校体育連盟
主 管	北海道高等学校体育連盟剣道専門部 千歳剣道連盟
後 援	北海道教育委員会 公益財団法人 北海道スポーツ協会

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本位)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。
「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。
この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に務める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

大会日程

1月11日（木）

専門委員会	千歳市開基記念総合武道館	会議室	10:00～
監督会議	千歳市開基記念総合武道館	会議室	13:00～
審判会議	千歳市開基記念総合武道館	会議室	14:00～
審判研修	千歳市開基記念総合武道館	アリーナ	

1月12日（金）

審判会議	千歳市開基記念総合武道館	会議室	8:30～
開会式	千歳市開基記念総合武道館	アリーナ	9:00～
競技開始	女子団体2部	予選リーグ（12試合）	9:30～
	男子団体2部	予選リーグ（12試合）	
	女子団体1部	予選リーグ（12試合）	
	男子団体1部	予選リーグ（24試合）	
	女子個人	決勝まで	13:30～
	男子個人	決勝まで	

1月13日（土）

審判会議	千歳市開基記念総合武道館	会議室	8:30～
競技開始	女子団体1部	予選リーグ（12試合）	9:00～
	男子団体1部	予選リーグ（24試合）	
	女子団体2部	予選リーグ（12試合）	
	男子団体2部	予選リーグ（12試合）	
	男女団体1部決勝リーグ出場決定戦・男女団体2部決勝トーナメント		
	男女団体1部決勝リーグ・男女団体2部決勝トーナメント		

閉会式	千歳市開基記念総合武道館	アリーナ	16:00～
-----	--------------	------	--------

大会次第

1 監督会議（1月11日:13時00分）

- （1）開 会 宣 言
- （2）専 門 部 長 挨 拶
- （3）審 判 長 注 意
- （4）競 技 部 よ り
- （5）プ ロ グ ラ ム 訂 正
- （6）質 疑 応 答
- （7）諸 連 絡
- （8）閉 会 宣 言

2 審判会議(11日:14:00～ 12日:8:30～ 13日:8:30～)

3 開会式（1月12日:9時00分）

- | | | |
|--------------|-----------------|-----------|
| （1）修 | 礼 | |
| （2）開 会 宣 言 | 北海道剣道連盟副会長兼専務理事 | 飛 弾 野 堅 司 |
| （3）大会会長挨拶 | 北海道剣道連盟 会長 | 武 田 牧 雄 |
| （4）審 判 長 注 意 | 剣 道 教 士 八 段 | 佐 賀 豊 |
| （5）選 手 宣 誓 | 札幌日本大学高等学校 | 大 洲 卓 真 |
| （6）閉 式 通 告 | | |
| （7）修 | 礼 | |

4 閉会式（1月13日:16時00分予定）

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| （1）開 式 通 告 | | |
| （2）修 | 礼 | |
| （3）成績発表(表彰) | | |
| （4）大会会長挨拶 | 北海道剣道連盟 会長 | 武 田 牧 雄 |
| （5）閉 会 宣 言 | 北海道剣道連盟副会長兼専務理事 | 飛 弾 野 堅 司 |
| （6）修 | 礼 | |

大会役員

(敬称略)

大会会長	一般財団法人 北海道剣道連盟	会長	武田 牧雄
大会副会長	一般財団法人 北海道剣道連盟	副会長兼 専務理事	飛弾 野堅司
	〃	副会長兼 専務理事	安丸 進
	〃	副会長	玉田 清貴
	〃	副会長	岡嶋 恒
	〃	副会長	古川 和男
	千歳剣剣道連盟	会長	千葉 英一
	北海道高等学校体育連盟	剣道専門部 部長	佐賀 聡
	〃	剣道専門部 副部長	壽 浅章洋
大会名誉会長	一般財団法人 北海道剣道連盟	名誉会長	藤井 稔
大会顧問(順不同)	公益財団法人 北海道スポーツ協会	会長	荒川 裕生
	一般財団法人 北海道剣道連盟	顧問	山城 宏惟
	〃	顧問	大崎 忠雄
	〃	相談役	小高 終八郎
	〃	相談役	鈴木 敏雄
	〃	相談役	横田 清隆

大会委員

大会委員長	一般財団法人 北海道剣道連盟	副会長兼 専務理事	飛弾 野堅司
大会副委員長	一般財団法人 北海道剣道連盟	常任理事	今野 裕樹

運 営 委 員

総務部長 柴田英昭

副部長 伊藤孝司

吉田政博

河井園子

接待千歲高校

3名

受 付 大 内 宏 康

千 歳 高 3名

救護樋口由香里

一 圭 井 石 長 部 報 広

副部長 廣中美子

競 技 部 長 増 田 忠

副部長 澤井じゅん

相 田 学

上村章太郎

竹之内 康秀

会 場 係 ・ 第一試合場 東海札幌高 5名

・第二試合場 東海札幌高 5名

・第三試合場 東海札幌高 5名

・第四試合場 札幌日大高 5名

・第五試合場 札幌厚別高 5名

・第六試合場 札幌日大高 5名

本部記録 竹之内康秀

小村 泰貴

千歳高校3名

佐藤 步

大会会場図

正 面

役 員

第一試合場

第二試合場

第三試合場

第四試合場

第五試合場

第六試合場

大会審判

審判長 教士八段 佐賀 豊

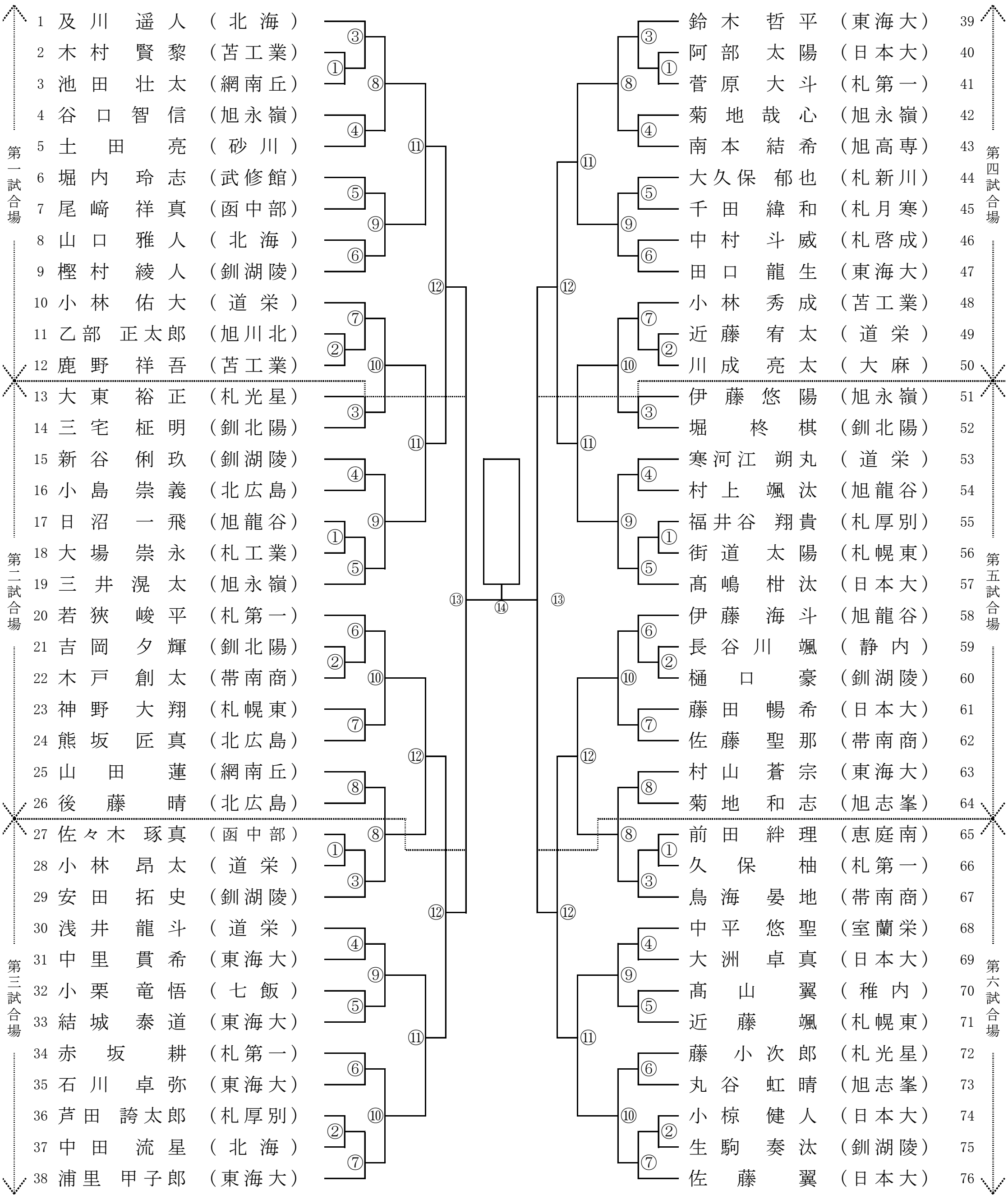
○印は、審判副主任

会場	審判主任	審判員 (順不同)		
第一試合場	栄花 英幸	○ 梶川 大祐 小原 洋恒 佐藤 大志 竹森 文弥	福島 一樹 鎌田 大介 黒木 充晴	金澤 啓史 岩渕 裕介 豊島 猛志
第二試合場	平尾 浩之	○ 増谷 大輔 大塩 満 渡邊 聖司 山田 涼	若松 公哉 山内 斉 本間 望	越後 実 石川 竹博 石井 義紘
第三試合場	森林 章二	○ 北本 武 鹿内 恒介 斉藤 大輔 守屋 匡人	設楽 哲哉 久保田 尚也 水島 敬	寺尾 智彦 小島 誠 佐藤 耀
第四試合場	三松 淳	○ 遠藤 尚也 伊藤 史理 矢ノ目 慎也	溝渕 大地 垂水 英展 丸山 稔	西川 昇 石川 翔太 小菅 柁毅
第五試合場	紺野 淳	○ 植根 由起 西村 欣久 尾崎 敦史	境野 安信 田中 努 佐藤 貫太	山口 貴弘 中村 圭介 源 泰介
第六試合場	小林 生命	○ 今村 尚貴 野澤 知弘 東地 良宣 太田 賢輔	半澤 史健 北本 薫 宮澤 謙輔	平川 隆二 柴田 宏樹 藤森 彩音

《個人戦組合せ表》

優勝
二位
三位
三位

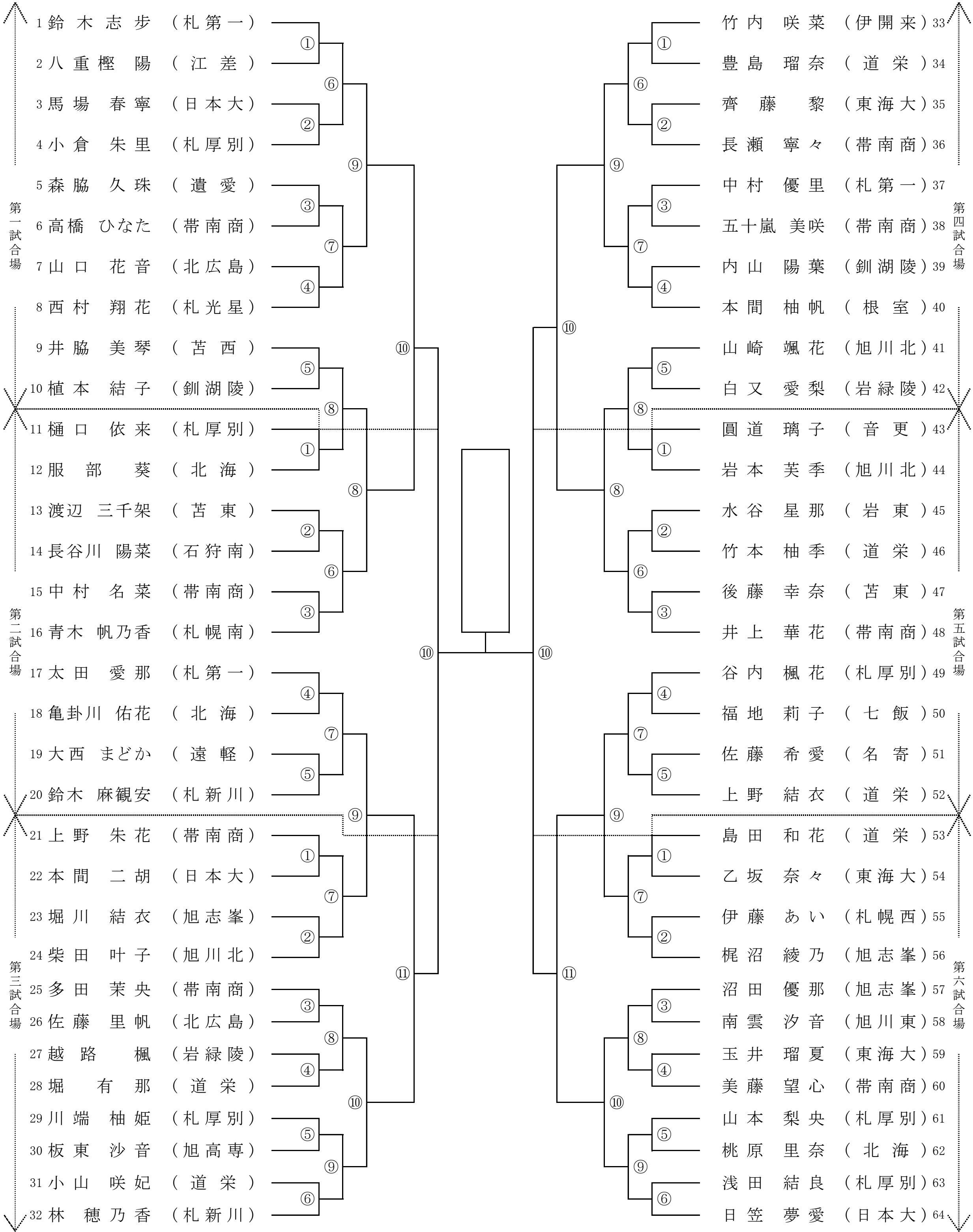
【男子の部】



《女子個人戦組合せ表》

優勝
二位
三位
三位

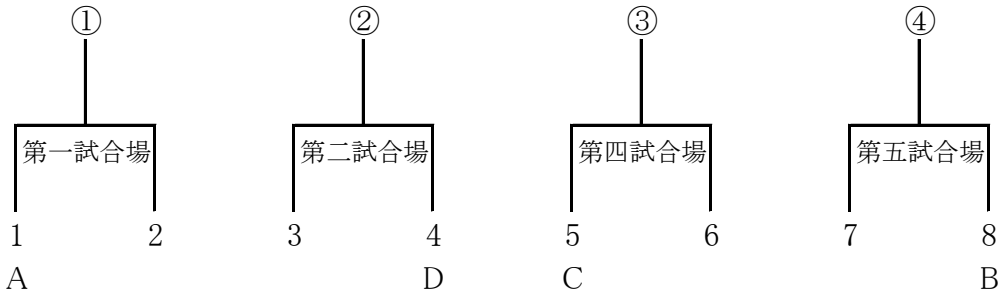
【女子の部】



《男子団体1部組み合わせ表》

優勝
二位
三位
三位

学 校 名		①	②	③	④	勝 数	勝者数	本 数	順 位
①	高校								
②	高校								
③	高校								
④	高校								

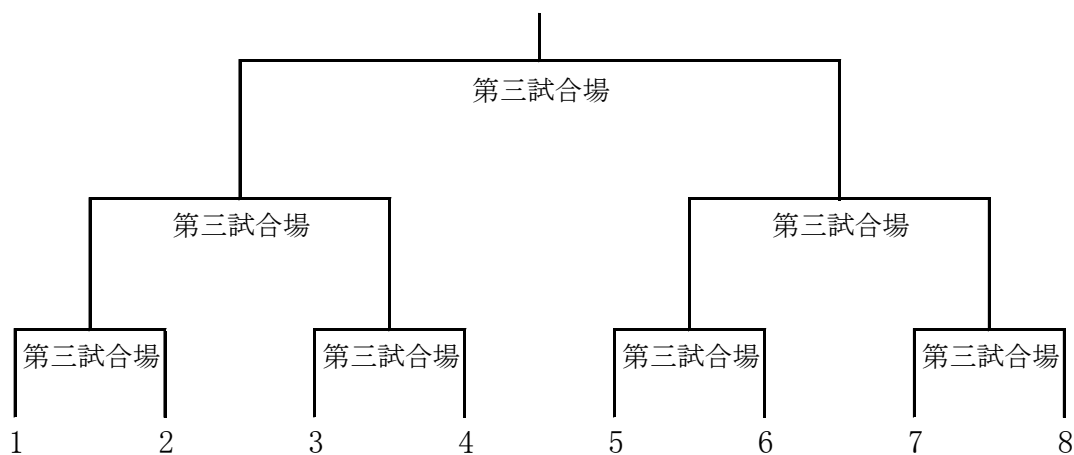


道高体連剣道専門部組合せ抽選会内規による。シード校の振り分け抽選など

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	東海大札幌	札幌日大	札幌第一	札幌東	釧路湖陵	旭川龍谷	北海道栄	静内
2	網走南ヶ丘	岩見沢緑陵	帯広南商業	釧路北陽	札幌工業	北見柏陽	札幌新川	旭川永嶺
3	岩見沢東	大 麻	帯広柏葉	札幌手稲	函館中部	苫小牧工業	北 海	立命館慶祥
4	旭川北	七 飯	恵庭南	札幌丘珠	札幌厚別	札幌藻岩	北 広 島	千 歳

《男子団体2部組み合わせ表》

優勝
二位
三位
三位



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	根 室	帯帯 広広 工三 業条	函函 館館 ラ館 サ工 ー業 ル業	天稚 塩内	石札 幌 狩啓 南成	駒大 苫小 牧	市函 立館 函館 館西	札 幌 南
2	伊室室 達蘭蘭 開工 来業栄	北 見 北 斗	旭 川 志 峯	音 更	札 幌 月 寒	江 別	旭 川 商 業	北 星 大 附 属
3	留 辺 薬	釧釧 路路 江明 南輝	札 幌 光 星	上旭 川 川東	札 幌 創 成	札 幌 北	深滝砂 川 東川川	小苫 樽小 潮牧 陵東

《女子団体1部組み合わせ表》

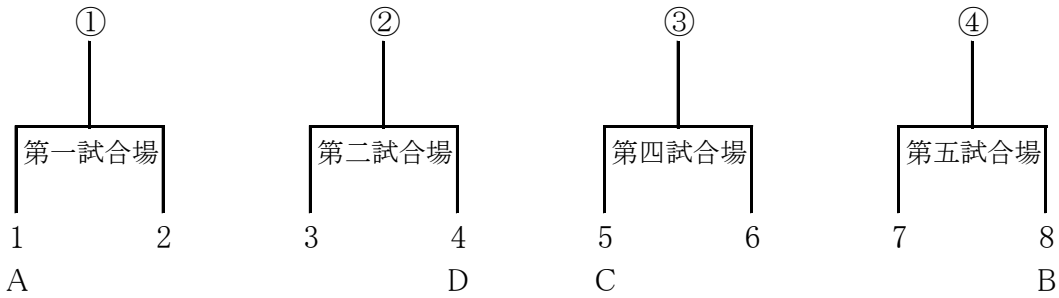
優勝

二位

三位

三位

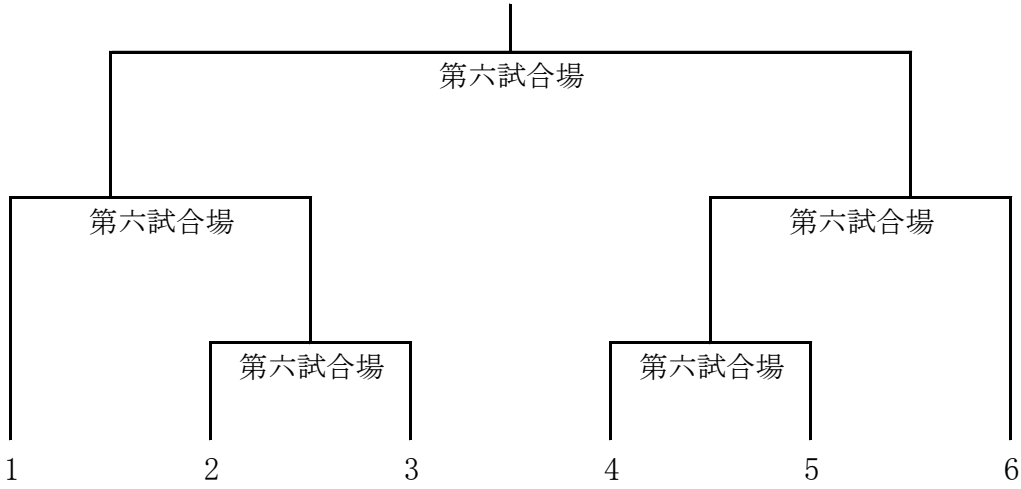
学 校 名		①	②	③	④	勝 数	勝者数	本 数	順 位
①	高校								
②	高校								
③	高校								
④	高校								



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	札幌厚別	北海道栄	北海	東海大札幌	帯広南商業	旭川北	釧路北陽	札幌日大
2	釧路湖陵	札幌新川	遺愛女子	音更	大 麻	札幌第一	札幌光星	札幌東
3	千歳	旭川志峯	江 差	北見柏陽	岩見沢緑陵	札幌西	北 広 島	帯広柏葉

《女子団体2部組み合わせ表》

優勝
二位
三位
三位



	A	B	C	D	E	F
1	函館白百合	岩砂見沢東川	札幌札幌札幌 札幌札幌札幌 札幌札幌札幌 札幌札幌札幌	北科大	旭川龍寄谷	立命館慶祥
2	札幌幌の旭森丘	札幌恵石札幌 札幌庭狩幌 札幌南南南	札幌別根釧路 札幌高海 札幌室専	北星大附属	札幌幌月寒	旭川高専
3	遠軽	旭川旭川旭川 旭川商永 旭川東業嶺	札幌幌啓成	七函館中飯部	函館西	札幌幌手稲
4	苫小牧開西来					苫小牧東

第1日目

予選リーグ試合順

順		第 1 試 合 場	第 2 試 合 場	第 3 試 合 場	第 4 試 合 場	第 5 試 合 場	第 6 試 合 場
1	女子 2部	白百合 - 旭 丘 () () とわの森	遠 軽 - 伊開来 () () 苫 西	新 陽・丘 - 札啓成 () () 珠・北 陵	旭 龍谷 - 函館西 () () 名 寄	立命館 - 旭高専 () ()	札手稲 - 苫 東 () ()
2		砂 川 - 旭 永 嶺 () () 岩 東 旭商旭東	旭 丘 - 遠 軽 () () とわの森	新 陽・丘 - 釧 高 専 () () 珠・北 陵 根室別海	旭 龍谷 - 札月寒 () () 名 寄	旭高専 - 札手稲 () ()	北科大 - 函中部 () () 七 飯
3	男子 2部	根 室 - 留辺蘂 () ()	札幌南 - 苫 東 () () 小 潮 陵	函 工 業 - 札光星 () () 函 ラ	稚 内 - 旭川東 () () 天 塩 上 川	札啓成 - 札創成 () () 石狩南	駒 大 - 札幌北 () ()
4		函館西 - 砂川・滝川 () () 市 函 深 川 東	帯三条 - 釧明輝 () () 帯工業 釧江南	旭志峯 - 札光星 () ()	音 更 - 旭川東 () () 上 川	札月寒 - 札創成 () ()	江 別 - 札幌北 () ()
5	女子 1部	札厚別 - 千 歳 () ()	札日大 - 帯柏葉 () ()	北 海 - 江 差 () ()	東海大 - 北柏陽 () ()	帯南商 - 岩緑陵 () ()	旭川北 - 札幌西 () ()
6		釧北陽 - 北広島 () ()	道 栄 - 旭志峯 () ()	遺 愛 - 江 差 () ()	音 更 - 北柏陽 () ()	大 麻 - 岩緑陵 () ()	札第一 - 札幌西 () ()
7	男子 1部	東海大 - 旭川北 () ()	札日大 - 七 飯 () ()	札新川 - 北 海 () ()	旭永嶺 - 立命館 () ()	帯南商 - 恵庭南 () ()	釧北陽 - 札丘珠 () ()
8		網南丘 - 岩 東 () ()	岩緑陵 - 大 麻 () ()	道 栄 - 北広島 () ()	静 内 - 千 歳 () ()	札工業 - 函中部 () ()	北柏陽 - 苫 工 () ()
9		北 海 - 北広島 () ()	立命館 - 千 歳 () ()	札第一 - 恵庭南 () ()	札幌東 - 札丘珠 () ()	釧湖陵 - 札厚別 () ()	旭龍谷 - 札藻岩 () ()
10		網南丘 - 旭川北 () - ()	岩緑陵 - 七 飯 () ()	帯南商 - 帯柏葉 () ()	釧北陽 - 札手稲 () ()	函中部 - 札厚別 () ()	苫 工 - 札藻岩 () ()

※進行により試合場の変更もあります。

第2日目

予選リーグ試合順

順		第 1 試 合 場	第 2 試 合 場	第 3 試 合 場	第 4 試 合 場	第 5 試 合 場	第 6 試 合 場
1	女子 1部	札光星 - 北広島 () ()	旭志峯 - 札新川 () ()	釧湖陵 - 千 歳 () ()	札幌東 - 帯拍葉 () ()	帯南商 - 大 麻 () ()	旭川北 - 札第一 () ()
2		札光星 - 釧北陽 () ()	道 栄 - 札新川 () ()	釧湖陵 - 札厚別 () ()	札幌東 - 札日大 () ()	東海大 - 音 更 () ()	北 海 - 遺 愛 () ()
3	男子 1部	東海大 - 網南丘 () ()	札日大 - 岩緑陵 () ()	道 栄 - 札新川 () ()	静 内 - 旭永嶺 () ()	札第一 - 帯南商 () ()	札幌東 - 釧北陽 () ()
4		岩 東 - 旭川北 () ()	大 麻 - 七 飯 () ()	恵庭南 - 帯柏葉 () ()	札丘珠 - 札手稲 () ()	釧湖陵 - 札工業 () ()	旭龍谷 - 北柏陽 () ()
5		道 栄 - 北 海 () ()	静 内 - 立命館 () ()	札第一 - 帯柏葉 () ()	札幌東 - 札手稲 () ()	札厚別 - 札工業 () ()	札藻岩 - 北柏陽 () ()
6		東海大 - 岩 東 () ()	札日大 - 大 麻 () ()	北広島 - 札新川 () ()	千 歳 - 旭永嶺 () ()	釧湖陵 - 函中部 () ()	旭龍谷 - 苦 工 () ()
7	女子 2部	白百合 - 遠 軽 () ()	旭 丘 - 伊開来 と わ - 苦 西	札南・石南 - 旭 永 嶺 恵 南 - 旭商旭東	北 星 - 函中部 七 飯	立命館 - 札手稲 () ()	旭高専 - 苦 東 () ()
8		白百合 - 伊開来 苦 西	釧 高 専 - 札啓成 根 室 別海	札南・石南 - 砂 川 恵 南 - 岩 東	北 星 - 北科大	立 命 館 - 苦 東 () ()	札月寒 - 函館西 () ()
9	男子 2部	室栄・室工 - 留辺蘂 伊 開 来	北北斗 - 釧明輝 釧江南	旭商業 - 砂川・滝川 深 川 東	北 星 - 苦 東 小潮陵	札啓成 - 札月寒 石狩南	駒 大 - 江 別 () ()
10		室栄・室工 - 根 室 伊 開 来	北北斗 - 帯三条 帯工業	旭商業 - 函館西 市 函	北 星 - 札幌南 () ()	稚 内 - 音 更 天 塩	函工業 - 旭志峯 函 ラ

※進行により試合場の変更もあります。

決勝リーグ試合順

●数字は女子1部の試合

				男子2部		女子2部	
順		第 1 試 合 場	第 2 試 合 場	第 3 試 合 場	第 4 試 合 場	第 5 試 合 場	第 6 試 合 場
1		① A - 2 () ()	② 3 - D () ()	1 - 2 3 - 4 () ()	③ C - 6 () ()	④ 7 - B () ()	2 - 3 4 - 5 () ()
2		① A - 2 () ()	② 3 - D () ()	5 - 6 7 - 8 () ()	③ C - 6 () ()	④ 7 - B () ()	1 - (2-3) (4-5) - 6 () ()
決勝リーグ							
3		① - ② () ()	③ - ④ () ()	(1-2) - (3-4) (5-6) - (7-8) () ()			決 勝 - () ()
4		① - ② () ()	③ - ④ () ()	決 勝 () ()			() ()
5		① - ③ () ()	② - ④ () ()				
6		① - ③ () ()	② - ④ () ()				
7		① - ④ () ()	② - ③ () ()				
8		① - ④ () ()	② - ③ () ()				

※男女団体1部3位校が同率・同支部の場合のみ、次年度高体連シード決めのため、代表戦を行う

団 体 男 子 1 部

男子団体予選リーグ(A)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 東海大札幌高校								
2 網走南ヶ丘高校								
3 岩見沢東高校								
4 旭川北高校								

男子団体予選リーグ(B)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札幌日大高校								
2 岩見沢緑陵高校								
3 大麻高校								
4 七飯高校								

男子団体予選リーグ(C)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札幌第一高校								
2 帯広南商業高校								
3 帯広柏葉高校								
4 恵庭南高校								

男子団体予選リーグ(D)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札幌東高校								
2 釧路北陽高校								
3 札幌手稲高校								
4 札幌丘珠高校								

団 体 男 子 1 部

男子団体予選リーグ(E)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 釧路湖陵高校								
2 札幌工業高校								
3 函館中部高校								
4 札幌厚別高校								

男子団体予選リーグ(F)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 旭川龍谷高校								
2 北見柏陽高校								
3 苫小牧工業高校								
4 札幌藻岩高校								

男子団体予選リーグ(G)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 北海道栄高校								
2 札幌新川高校								
3 北海高校								
4 北広島高校								

男子団体予選リーグ(H)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 静内高校								
2 旭川永嶺高校								
3 立命館慶祥高校								
4 千歳高校								

団 体 男 子 2 部

男子団体予選リーグ(A)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 根 室 高 校							
2 室蘭栄・室蘭工業 伊達開来高校							
3 留 辺 薬 高 校							

男子団体予選リーグ(B)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 帯広三条・帯広工業高校							
2 北 見 北 斗 高 校							
3 釧路明輝・釧路江南高校							

男子団体予選リーグ(C)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 函 館 工 業 函館フサール高校							
2 旭 川 志 峯 高 校							
3 札 幌 光 星 高 校							

男子団体予選リーグ(D)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 稚 内 ・ 天 塩 高 校							
2 音 更 高 校							
3 旭川東・上川高校							

団 体 男 子 2 部

男子団体予選リーグ(E)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札幌啓成・石狩南高校							
2 札幌月寒高校							
3 札幌創成高校							

男子団体予選リーグ(F)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 駒大苫小牧高校							
2 江別高校							
3 札幌北高校							

男子団体予選リーグ(G)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 函館西・市立函館高校							
2 旭川商業高校							
3 砂川・滝川 深川東高校							

男子団体予選リーグ(H)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札幌南高校							
2 北星大附属高校							
3 苫小牧東 小樽潮陵高校							

団 体 女 子 1 部

女子団体予選リーグ(A)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札 幌 厚 別 高 校							
2 釧 路 湖 陵 高 校							
3 千 歳 高 校							

女子団体予選リーグ(B)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 北 海 道 栄 高 校							
2 札 幌 新 川 高 校							
3 旭 川 志 峯 高 校							

女子団体予選リーグ(C)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 北 海 高 校							
2 遺 愛 女 子 高 校							
3 江 差 高 校							

女子団体予選リーグ(D)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 東 海 大 札 幌 高 校							
2 音 更 高 校							
3 北 見 柏 陽 高 校							

団 体 女 子 1 部

女子団体予選リーグ(E)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 帯 広 南 商 業 高 校							
2 大 麻 高 校							
3 岩 見 沢 緑 陵 高 校							

女子団体予選リーグ(F)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 旭 川 北 高 校							
2 札 幌 第 一 高 校							
3 札 幌 西 高 校							

女子団体予選リーグ(G)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 釧 路 北 陽 高 校							
2 札 幌 光 星 高 校							
3 北 広 島 高 校							

女子団体予選リーグ(H)ブロック

学 校 名	1	2	3	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札 幌 日 大 高 校							
2 札 幌 東 高 校							
3 帯 広 柏 葉 高 校							

団 体 女 子 2 部

女子団体予選リーグ(A)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 函 館 白 百 合 高 校								
2 札 幌 旭 丘 酪大とわの森高校								
3 遠 軽 高 校								
4 伊 達 開 来 苫 小 牧 西 高 校								

女子団体予選リーグ(B)ブロック

学 校 名	1	2	3		勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 砂川・岩見沢東高校								
2 札 幌 南 ・ 石 狩 南 恵 庭 南 高 校								
3 旭川永嶺・旭川商業 旭 川 東 高 校								

女子団体予選リーグ(C)ブロック

学 校 名	1	2	3		勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 札幌新陽・札幌丘珠 札 幌 北 陵 高 校								
2 釧 路 高 専 根 室 ・ 別 海 高 校								
3 札 幌 啓 成 高 校								

女子団体予選リーグ(D)ブロック

学 校 名	1	2	3		勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 北 科 大 高 校								
2 北 星 大 附 属 高 校								
3 函 館 中 部 七 飯 高 校								

団 体 女 子 2 部

女子団体予選リーグ(E)ブロック

学 校 名	1	2	3		勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 旭川龍谷・名寄高校								
2 札幌月寒高校								
3 函館西高校								

女子団体予選リーグ(F)ブロック

学 校 名	1	2	3	4	勝 点	勝者数	本 数	順 位
1 立命館慶祥高校								
2 旭川工業高等専門学校								
3 札幌手稲高校								
4 苫小牧東高校								

北海道高等学校体育連盟剣道専門部努力目標

1 指導方針

剣道の理念をより深く認識し、心気力一致の剣道をめざす。

◎ 正しい心で練習も試合もするよう指導する。

(1) 望ましい指導者のあり方について研さんを積む。

(指導者に対する批判には耳を傾け反省の材料とする)

(2) 真の有効打突を求め、その指導に徹する。

(気剣体一致の打突を常に念頭に置き指導する)

(3) 正しい鏝競り合いを徹底する。

正しい鏝競り合いとして以下に示す内容を徹底して指導する。

ア 手元が上がった拳競り合いにならないようにし、手元を下げて相互に鏝元と鏝元を合わせて竹刀を交差させる。

(このことを試合者同士が相互に努力して行うことを前提とさせる)

イ 鏝元で竹刀の表縞を交差させる。

(竹刀は右傾前方に傾ける)

ウ 瞬間的に裏交差はあり得るが、直後に表縞側での交差に直さなければならない。

(先に裏交差した者や右拳を体の中心より左側において鏝競り合いをする者は反則の対象となることも指導する)

エ 鏝競り合いは、相互に鏝元で圧力をかけ合っている状態とする。

(相手の力を故意に吸収して体を密着させる行為は反則の対象となることも指導する)

(4) 試合時間の大半を「鏝競り合いに費やす試合展開」ではなく、「間合いを取り、対峙して攻め合う試合展開」になるように指導する。

(お互いに分かれて鏝競り合いを解消する場合は、呼吸を合わせ剣先が触れない位置まで潔く間合いを切ることを指導する)

(5) 公明正大に試合するように指導する。

(攻めもなく打突することもなく、構えて即、深い間に入ったり、鏝競り合いに持ちこむ試合行動はさせない)

(6) 安全に留意した練習・試合を行うよう指導を強める。

(先細竹刀の使用、竹の肉厚を薄く削る等、危険と思われる形状の竹刀の使用を止めさせる)

(危険と思われる突きは止めさせる)

2 審判員留意事項

◎ 正しい剣道が継続され、正しく豊かな心が育つよう、公正かつ厳正に審判する。

(1) 有効打突の判定を誤らないようにする。

(引き技・左胴の見誤りをなくする。技の違いと錬度に応じた打突の見極めをする)

(2) 申し合わせ事項にある「正しい鏝競り合い」の内容を正確に把握し、不当な鏝競り合いの「反則」を見逃さないようにする。

(反則と見なした時点で主審は試合を中止し合議をかける)

(3) 正しい鏝競り合いが10秒程度続いた場合、安易に「分かれ」をかけず、原則的にいずれか一方に時間空費の反則をとる。

(10秒の時間感覚を日常より身につける努力をする)

(その他鰐競り合いにおける措置は、別紙「鰐競り合い改善の補足事項(平成22年5月3日決定)」による)

(4) 一時中止要請に対しての処理を適切に行う。

(不適切なものは「反則」にする)

(5) 場外反則のとり方を正確に出来るよう努力する。

(「場外」と「押し出し・突き出し」の判定を正確に行う)

(「止め」を宣告する時期を適切なものにする)

(6) 危険な突きは反則とする。

(有効打突とする意志のない危険な打突、例えば、相手の場外反則をねらって突いたもの、あるいは引き技を出した相手に残心をとらせないで相手の有効打突を消すことをねらって突いたものなどを反則とする)

平成4年5月12日 全文改定

平成17年5月4日 一部改訂

平成22年5月7日 一部改訂

平成28年6月1日 一部改訂

北海道高等学校体育連盟剣道専門部申し合せ事項

下記の事項は、公式試合における高体連剣道専門部としての統一的な事項である。
特に全道大会においては、これを厳守することとする。

1 選手 心得

- (1) 選手は気品のある態度で全力をあげて試合をする。
- (2) 選手の服装・竹刀・剣道具は、その安全性と公平性が保たれていること。規格外のものを使用したり、華美な装飾や細工等を施さないようにする。竹刀の長さは、117センチメートル以下とする。竹刀の重さは、男子480グラム以上、女子420グラム以上とする。先革の長さは、5センチメートル以上とする。先革 先端部最小直径(対辺直径)は、男子26ミリメートル以上、女子は25ミリメートル以上とする。ちくとう部直径(竹刀先端部より8センチメートルのちくとう対角最小直径)は男子は21ミリメートル以上、女子20ミリメートル以上とする。また、竹刀は先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなるものとする。
- (3) 選手の服装は、紺(黒)または白の剣道着・袴とする。なお、刺繍等により華美にならないこと。
- (4) 試合者の目印に校名などを大きく目立つように入れてはいけない。目印を着ける時は折り返した二枚の長さが揃うように着ける。
- (5) 貴重品の保管には十分留意する。
- (6) 滑り止めのための雑巾等は使用しない。

2 監督心得

- (1) 監督の服装は背広(スーツ)・ネクタイ、または剣道着・袴とする。
- (2) 試合場に入れる者は、監督・選手・補欠及びマネージャーで、他の者の入場は厳禁する。

3 規則の運用及び大会運営について

- (1) 試合はすべて一刀(一本の竹刀)にて行うものとする。二刀にての試合は認めない。
- (2) 鰐競り合いについて。
 - (イ) 試合者は、正しい鰐競り合いの攻防から10秒以内に技を出すか、または、相互に間合いを切って鰐競り合いを解消しなければならない。
正しい鰐競り合いとして以下に示す内容を審判の判定基準とし、この基準からはずれる場合は不当な鰐競り 合いの反則とする。
 - ① 手元が上がった拳競り合いにならないようにし、手元を下げて相互に鰐元と鰐元 を合わせて竹刀を 交差させる。(このことを試合者同士が相互に努力して行うことを前提 とする。)
 - ② 鰐元で竹刀の表鍔を交差させる(竹刀は右傾前方に傾ける。)
 - ③ 瞬間的に裏交差はあり得るが、直後に表鍔側での交差に直さなければならない。(先に裏交差した者や右拳を体の中心より左側において鰐競り合いをする者は反則の対象となる。)
 - ④ 鰐競り合いは、相互に鰐元で圧力をかけ合っている状態とする。相手の力を故意に吸収して体を密着させる行為は反則の対象となる。)
 - ⑤ 鰐競り合いを 解消する場合は、右足前の中段の構えを基準として明らかに剣先が触れない位置まで 呼吸を合わせて 潔く間合いを切ることとする。
 - (ロ) 審判員は、不当な鰐競り合いの「反則」を厳密に見極めるとともに、正しい鰐競り合いの攻防が10秒程度続いた場合、時間空費の「反則」または「分かれ」を見極める。(ただし、安易に「分かれ」をかけない。)

- (ハ)運用の詳細については、別紙「鏝競り合い改善の補足事項(平成 22年 5月 3日決定)」による。
- (3) 不正用具を使用した時の罰則は試合規則 17条・19条の通りであるが、個人戦と団体戦を含めて行う大会においては、両方に適用する。
- (イ) 団体戦・個人戦における不正用具使用者は、以後の試合に出場できない。団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めのないかぎり認める。
- (ロ) リーグ戦にあつては、不正用具使用者の総ての試合を負けとし、補欠の出場は認めない。
- (4) 団体戦において、補欠と交代した選手の再出場は認めない。(大会が2日以上の場合は全期間にわたって適用する。)但し、全道新人大会においてはこの限りではない。
- (5) 個人戦の時、関係のあるチームの生徒が出たときは審判員を交代する。
- (6) 予選リーグにおける引き分けの際は、その都度勝負を決定せずにそのリーグ終了後下記の順で決勝トーナメント進出校を決め、または代表戦を行う。
- (イ) チームの勝ち点による。(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)
- (ロ) 勝者数による
- (ハ) 総本数による
- (二) 上記(イ)～(ハ)まででチームの順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を行う。代表者戦は一本勝負とするが、3校が同数の場合は三本勝負とする。
- ① 代表者戦の対戦順は予選リーグ時の対戦順とする。
- ② 代表選手は選手の安全面等に配慮し、代表者戦ごと変更することを可とする。
- ③ 審判は予選リーグ戦時における当該の審判が行う。
- (7) 代表者戦の選手は、高体連全道大会では当該の試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手から選出し(すでに補欠と変更された選手は出場できない)、全道新人大会では予選リーグでは大会登録している選手から選出し、決勝トーナメントは当該の試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手から選出する。礼法については代表者戦1巡目のみ団体戦の5人が整列して行う。2巡目に入った場合は、代表選手のための礼とする。
- (8) 団体試合・トーナメント戦において、チームの勝敗が決定した後の試合は延長戦を行わない。
- (9) 「分かれ」について。
- ① 「不当な鏝競り合いでもなく」、② 「時間空費でもなく」、時間が経過しこう着状態が続く場合にかけるものとする。
- (10) 延長戦について。
- (イ) 全道大会の個人戦において、試合時間内で勝敗が決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。ただし、延長戦の試合時間は勝敗が決するまで継続する。
- (ロ) 高体連全道大会の団体戦においては、代表者戦以外の延長戦は、試合時間2分1回とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。(勝敗が決した以後の試合の延長は行わず引き分けとする。)また、代表者戦に限り延長戦の試合時間は勝敗が決するまで継続する。
- (ハ) 全道新人大会の団体戦においては、勝敗の決しない場合は引き分けとする。ただし、代表者戦では試合時間内で勝敗が決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。この場合の延長戦は勝敗が決するまで試合時間は継続する。
- 付記:(1) 勝敗が決するまで延長戦を継続する場合、主審は試合者の疲労度等を観察し、休息等の措置が必要と判断したら、「止め」を宣告し、深呼吸等の措置をとることができるものとする。
- (2) 各支部の大会における「延長戦の試合時間」については全道大会に準ずる。

(11) 反則の宣告の仕方について。

合議により反則をとった場合は、反則名を通告してから反則の宣告をする。

(反則名の通告例一覧)

規則第17条(諸禁止行為)

反則	反則名の通告と反則の宣告
不正用具使用〔17 条 -1 号〕	「不正用具使用」反則負け
足掛け 足払い〔 17 条 -2 号〕	「足掛け(足払い)」反則○回
不当な押し出し(突き出し) 〔17 条 -3 号〕	「押し出し(突き出し)」反則○回
場外〔 17 条 -4 号〕	原則として省略 (合議した場合は「場外」反則○回)
竹刀落とし〔17 条 -5 号〕	原則として省略 (合議した場合は「竹刀落 とし」反則○回)
不当な中止要請〔17 条 -6 号〕	「不当な中止要請」反則○回
17条 7 号のその他の禁止行為 〔17 条 -7 号〕	「反則の内容を表す言葉を添える」反則○回 例:「敵対行為をしなかった」反則○回
故意による時間空費 〔細則16 条 -6 号〕	「時間空費」反則○回
不当な鏝競り合い及び打突 〔細則16 条 -7 号〕	原則として省略 (合議した場合は「不当な鏝競り合い」反則○回)
鏝競り合いの解消〔申し合わせ事項〕	「公正を害する行為 」反則○回

(12) オーダーミスがあった場合は下記のように措置する。

① 試合開始前に発覚した場合は正規のオーダーに改めさせ、特に罰則は与えない。

② 試合中あるいは試合後発覚した場合は次のように措置する。

(その試合場の審判主任へ 申し出る)

*例えば、先鋒と次鋒のオーダーミス の場合

ア 先鋒、次鋒とも相手に2本を与え負けとする。

イ 先鋒、次鋒とも既得本数は認めない。

なお、「試合後の発覚」とはそのチームは 大将戦が終了し、団体の礼が 終わるまでに発覚した場合をいう。試合後の 勝敗は、団体の礼をもって「成立」とし、それ以後の 申し立てはできない。

③ 上記② は、トーナメント戦、リーグ 戦ともに 当該 試合のみ 適用する。

④ オーダーミス にあったチームがトーナメント戦において勝ち あがった 場合 またはリーグ戦における以後の試合は、オーダーミスのあった選手の出場を認める。

(13) 会場の都合で各種旗(校旗、部旗、それに類するもの)の掲揚はしない。

4 事故処理

選手が負傷した場合は、医師の判断により、試合継続の可否を決定する。

但し、医師不在の場合は監督の意見を聞いた上、審判主任と審判員の4名が審判長の了解を得て、試合継続の可否を決定する。その場合、原則として5分以内に結論を出す。

5 試合放棄に対する措置について

高体連全道大会、北海道高等学校新人剣道大会において試合放棄が行われた場合、原則として以下の措置をとる。

試合放棄とは事故や負傷などによる棄権ではなく、運営や判定に対する不満により、試合を一方的に放棄した場合をいう。

(1) 試合放棄の事実確認及び事情聴取

審判長または審判主任は、監督及び選手に対して試合放棄の事実を直接確認し、その事情聴取にあたる。

(2) 競技上の取り扱い

剣道試合・審判規則第 31 条(棄権)、細則 28 条にのっとり以下の通り処理する。

① 試合を放棄した者は負けとし、その後試合に出場することができない。

② 個人戦においては、相手に2本を与えて負けとする。既得本数は認めない。

③ 団体戦においては、相手チームに5勝 10 本を与えて負けとし、既得本数は認めない。

(リーグ戦においてはそのリーグ総ての試合を、相手チームに5勝10本を与えて負けとし、既得本数、既得権は認めない)

補足:団体戦においては、チームとして試合放棄した場合とチーム内の1選手が試合放棄した場合があり得るが、ともに上記③のとおり処置する。

(3) 試合放棄した個人又は団体(監督も含め)に対する事後の指導措置

北海道高体連剣道専門部長は、副部長・委員長と協議し当該者に対し指導を講ずる。その結果を全道専門委員会に報告する。

付記:各支部の大会における試合放棄は、各支部専門部に一任する。その結果を全道高体連剣道専門部長に報告する。

平成 8 年 5 月 14 日 全文改定

平成 20 年 5 月 3 日 一部改訂

平成 22 年 5 月 6 日 一部改訂

平成 24 年 1 月 15 日 一部改訂

平成 28 年 6 月 1 日 一部改訂

平成 30 年 5 月 7 日 一部改訂

令和 2 年 1 月 13 日 一部改訂

北海道高等学校新人剣道大会成績表

回	開催地	男女別	優勝校	第2位	第3位
第1回 (56・11・8)	札幌市 (新川高等学校)	男子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	北海高等学校 長沼高等学校
		女子	札幌西陵高等学校	風連高等学校	北広島高等学校 札幌第一高等学校
第2回 (57・11・23)	札幌市 (中島体育センター別館)	男子	札幌第一高等学校	羽幌高等学校	東海大学第四高等学校 稚内高等学校
		女子	旭川大学高等学校	札幌第一高等学校	美唄南高等学校 伊達高等学校
第3回 (58・11・23)	札幌市 (中島体育センター別館)	男子	札幌第一高等学校	稚内高等学校	足寄高等学校 東海大学第四高等学校
		女子	札幌第一高等学校	旭川大学高等学校	留萌高等学校 美唄南高等学校
第4回 (59・11・18)	札幌市 (札幌中央体育館)	男子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	北海高等学校 倶知安高等学校
		女子	札幌第一高等学校	伊達高等学校	釧路北陽高等学校 旭川大学高等学校
第5回 (60・11・7)	札幌市 (札幌中央体育館)	男子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	伊達緑丘高等学校 札幌新川高等学校
		女子	札幌第一高等学校	旭川大学高等学校	弟子屈高等学校 美唄南高等学校
第6回 (62・1・25)	札幌市 (札幌中央体育館)	男子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	釧路短大付属高等学校 岩見沢東高等学校
		女子	旭川大学高等学校	札幌第一高等学校	留辺蘂高等学校 伊達高等学校
第7回 (63・1・17)	札幌市 (札幌市白石区体育館)	男子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	新川高等学校 北海高等学校
		女子	札幌第一高等学校	東海大四高等学校	石狩高等学校 足寄高等学校

回	開催地	男女別	優勝校	第2位	第3位
第8回 (元・1・29)	札幌市 (第2白石区体育館)	男子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	札幌日本大学高等学校 中標津高等学校
		女子	札幌第一高等学校	伊達高等学校	東海大学第四高等学校 岩見沢東高等学校
第9回 (2・1・28)	札幌市 (札幌市北区体育館)	男子	東海大学第四高等学校	札幌日本大学高等学校	登別高等学校 伊達緑丘高等学校
		女子	札幌第一高等学校	北見柏陽高等学校	伊達高等学校 留萌高等学校
第10回 (3・1・27)	帯広市 (帯広市総合体育館)	男子	伊達緑丘高等学校	釧路短大付属高等学校	札幌日本大学高等学校 東海大学第四高等学校
		女子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	本別高等学校 旭川商業高等学校
第11回 (4・1・26)	美唄市 (美唄市総合体育館)	男子	札幌日本大学高等学校	東海大学第四高等学校	北海高等学校 帯広柏陽高等学校
		女子	東海大学第四高等学校	旭川商業高等学校	本別高等学校 札幌第一高等学校
第12回 (5・1・24)	釧路市 (釧路市厚生年金体育館)	男子	札幌日本大学高等学校	東海大学第四高等学校	北海高等学校 札幌第一高等学校
		女子	札幌第一高等学校	東海大学第四高等学校	岩見沢緑陵高等学校 伊達緑丘高等学校
第13回 (6・1・15)	名寄市 (名寄市スポーツセンター)	男子	東海大学第四高等学校	登別高等学校	札幌日本大学高等学校 札幌第一高等学校
		女子	札幌第一高等学校	東海大学第四高等学校	釧路緑ヶ岡高等学校 旭川商業高等学校
第14回 (7・1・14)	旭川市 (旭川市総合体育館)	男子	東海大学第四高等学校	網走南ヶ丘高等学校	札幌拓北高等学校 札幌日本大学高等学校
		女子	東海大学第四高等学校	旭川商業高等学校	岩見沢緑陵高等学校 札幌第一高等学校

回	開催地	男女別	優勝校	第2位	第3位
第15回 (8・1・10)	小樽市 (小樽市総合体育館)	男子	東海大学第四高等学校	紋別北高等学校	札幌拓北高等学校 札幌創成高等学校
		女子	札幌第一高等学校	東海大学第四高等学校	岩見沢緑陵高等学校 伊達緑丘高等学校
第16回 (9・1・14)	滝川市 (滝川スポーツセンター)	男子	東海大学第四高等学校	紋別北高等学校	札幌創成高等学校 札幌第一高等学校
		女子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	札幌拓北高等学校 伊達緑丘高等学校
第17回 (10・1・13・14)	網走市 (網走総合体育館)	男子	東海大学第四高等学校	札幌日本大学高等学校	札幌第一高等学校 室蘭栄高等学校
		女子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	札幌創成高等学校 札幌拓北高等学校
第18回 (11・1・14・15)	帯広市 (帯広市総合体育館)	男子	東海大学第四高等学校	伊達緑丘高等学校	札幌第一高等学校 北海高等学校
		女子	札幌第一高等学校	東海大学第四高等学校	旭川商業高等学校 札幌創成高等学校
第19回 (12・1・13・14)	登別市 (日本工学院北海道専門学校体育館)	男子	札幌日本大学高等学校	札幌第一高等学校	東海大学第四高等学校 北海高等学校
		女子	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校	登別高等学校 北見緑陵高等学校
第20回 (13・1・20・21)	函館市 (函館市民体育館)	男子	札幌日本大学高等学校	東海大学第四高等学校	札幌第一高等学校 旭川北高等学校
		女子	札幌日本大学高等学校	札幌第一高等学校	東海大学第四高等学校 北見緑陵高等学校
第21回 (14・1・19・20)	岩見沢市 (岩見沢市スポーツセンター)	男子	東海大学第四高等学校	札幌日本大学高等学校	札幌第一高等学校 旭川北高等学校
		女子	札幌第一高等学校	札幌日本大学高等学校	千歳高等学校 北海道栄高等学校

回	開催地	男女別	優勝校	第2位	第3位
第 22 回 (15・1・25・26)	釧路市 (釧路町総合体育館)	男子	東海大第四高等学校	札幌日本大学高等学校	帯広柏葉高等学校 札幌第一高等学校
		女子	北海道栄高等学校	札幌日本大学高等学校	旭川商業高等学校 千歳高等学校
第 23 回 (16・1・24・25)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子	東海大第四高等学校	札幌日本大学高等学校	恵庭南高等学校 札幌第一高等学校
		女子	札幌第一高等学校	札幌日本大学高等学校	東海大学第四高等学校 恵庭南高等学校
第 24 回 (17・1・22・23)	旭川市 (旭川市総合体育館)	男子	札幌第一高等学校	札幌日本大学高等学校	恵庭南高等学校 札幌拓北高等学校
		女子	札幌日本大学高等学校	大 麻 高等学校	恵庭南高等学校 札幌第一高等学校
第 25 回 (18・1・21・22)	千歳市 (千歳市武道館)	男子	東海大学付属第四高等学校	札幌第一高等学校	札幌新川高等学校 札幌日本大学高等学校
		女子	札幌日本大学高等学校	札幌第一高等学校	北海道栄高等学校 札幌新川高等学校
第 26 回 (19・1・11・12)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属第四高等学校	札幌日本大学高等学校	恵庭南高等学校 旭川北高等学校
		男子個人	阿部友哉 (東海大四)	西村拓摩 (森)	中村春貴(大麻) 福岡聖也(北見工業)
		女子団体	札幌第一高等学校	札幌日本大学高等学校	苫小牧工業高等学校 恵庭南高等学校
		女子個人	寶金由里香 (札幌日大)	宍戸柚香 (札幌第一)	山本理恵(武修館) 吉見彩加(札幌第一)
第 27 回 (20・1・11・12)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属第四高等学校	札幌日本大学高等学校	札幌第一高等学校 札幌新川高等学校
		男子個人	川内俊 (札幌日大)	吉田拓未 (札幌日大)	櫻庭恵利(森) 菅原悠斗(札幌新川)
		女子団体	札幌日本大学高等学校	札幌第一高等学校	札幌新川高等学校 苫小牧工業高等学校
		女子個人	柏木あかね (札幌日大)	天瀬光 (札幌第一)	酒井美保(札幌日大) 谷山奈津美(札幌新川)
第 28 回 (21・1・9・10)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属第四高等学校	札幌日本大学高等学校	恵庭南高等学校 札幌拓北高等学校
		男子個人	三浦生雅 (札幌日大)	千徳宏次朗 (東海大四)	山之内良輔(大麻) 眞下裕二(札幌日大)
		女子団体	恵庭南高等学校	札幌第一高等学校	札幌日本大学高等学校 札幌新川高等学校
		女子個人	富田さくら (札幌日大)	木村美咲 (北海道栄)	佐々木香菜子(苫小牧西) 太田聖子(札幌第一)

回	開催地	男女別	優勝校	第2位	第3位
第29回 (22・1・13・14)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属第四高等学校	札幌日本大学高等学校	札幌拓北高等学校 恵庭南高等学校
		男子個人	藤澤大輔 (森)	本間凌 (伊達)	久保田尚也(東海大四) 安井盛将(札幌新川)
		女子団体	札幌日本大学高等学校	伊達高等学校	恵庭南高等学校 東海大学付属第四高等学校
		女子個人	白土ひかり (伊達)	辻麻有美 (北海道栄高等学校)	坂本紗彩(東海大四) 富田さくら(札幌日大)
第30回 (23・1・11・12)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	札幌日本大学高等学校	希望学園札幌第一高等学校	札幌新川高等学校 東海大学付属第四高等学校
		男子個人	辻田祐吾 (東海大四)	金子周平 (札幌第一)	福田雄馬(札幌新川) 久保田和巳(東海大四)
		女子団体	札幌日本大学高等学校	北海道栄高等学校	希望学園札幌第一高等学校 東海大学付属第四高等学校
		女子個人	上田佳奈江 (札幌日大)	杉本麗 (札幌日大)	大和田かおり(伊達高校) 穴戸麗奈(札幌第一)
第31回 (24・1・18・19)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	札幌新川高等学校	恵庭南高等学校	東海大学付属第四高等学校 札幌北高等学校
		男子個人	伊澤周都 (東海大四)	五十嵐一樹 (札幌新川)	丹羽慎(恵庭南) 福田雄馬(札幌新川)
		女子団体	北海道栄高等学校	東海大学付属第四高等学校	札幌日大高等学校 旭川大学高等学校
		女子個人	栄花瞳 (東海大四)	古内はるか (札幌第一)	西條美里(小樽潮陵) 今野結芽(札幌日大)
第32回 (25・1・15・16)	江別市 (江別市民体育館)	男子団体	東海大学付属第四高等学校	希望学園札幌第一高等学校	札幌新川高等学校 札幌日大高等学校
		男子個人	永田悠之介 (東海大四)	村川昂輝 (東海大四)	今野壮一朗(札幌新川) 青木漱吾(札幌第一)
		女子団体	東海大学付属第四高等学校	北海道栄高等学校	札幌日大高等学校 旭川大学高等学校
		女子個人	栄花瞳 (東海大四)	齊藤彩 (東海大四)	三松麗佳(札幌日大) 柳本莉乃(札幌日大)
第33回 (26・1・8・9)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属第四高等学校	札幌日本大学高等学校	希望学園札幌第一高等学校 苫小牧工業高等学校
		男子個人	高松伸彦 (札幌日大)	鷺頭佳祐 (苫小牧工業)	坂下泰悠(苫小牧工業) 富樫玄(東海大四)
		女子団体	札幌日本大学高等学校	北海道栄高等学校	東海大学付属第四高等学校 伊達高等学校
		女子個人	伊東麻里絵 (東海大四)	上田叶女 (北海道栄)	児玉菜々子(東海第四) 松本藍(東海大四)
第34回 (27・1・7・8)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属第四高等学校	札幌日本大学高等学校	恵庭南高等学校 希望学園札幌第一高等学校
		男子個人	奥村優太 (東海大四)	伊深玲央 (東海大四)	高松詩郎(札幌日大) 齋藤飛翔(伊達)
		女子団体	北海道栄高等学校	札幌日本大学高等学校	旭川大学高等学校 北海高等学校
		女子個人	牛木麻理奈 (札幌日大)	石田みなみ (北海道栄)	門川舞奈(北海道栄) 森田綺理(札幌日大)

回	開催地	男女別	優勝校	第2位	第3位
第 35 回 (28・1・7・8)	千歳市 (千歳市総合武道館)	男子団体	東海大学付属 第四高等学校	恵庭南 高等学校	札幌日本大学高等学校 双葉高等学校
		男子個人	廣澤快 (東海大四)	林上龍基 (旭川大学)	白旗篤稀(東海大四) 長谷川敏樹(岩見沢東)
		女子団体 1部	札幌日本大学 高等学校	東海大学付属 第四高等学校	北海道栄高等学校 旭川大学高等学校
		女子団体 2部	石狩南 高等学校	遺愛女子 高等学校	希望学園札幌第一高等学校 帯広三条高等学校
		女子個人	尾上舞 (旭川大学)	福田安優子 (東海大四)	門川舞奈(北海道栄) 安藤愛莉(岩見沢緑陵)
第 36 回 (29・1・10・11)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属 札幌高等学校	札幌日本大学 高等学校	恵庭南高等学校 旭川大学高等学校
		男子個人	小田宗治 (東海大札幌)	廣澤快 (東海大札幌)	川口翔太郎(東海大札幌) 栄花将輝(東海大札幌)
		女子団体 1部	東海大学付属 札幌高等学校	岩見沢緑陵 高等学校	札幌第一高等学校 北海道栄高等学校
		女子団体 2部	旭川北 高等学校	札幌厚別 高等学校	札幌第一高等学校 登別明日中等教育学校
		女子個人	廣瀬果音 (東海大札幌)	島地唯 (札幌日大)	新崎梨衣奈(東海大札幌) 照井杜稀矛(旭川大学)
第 37 回 (30・1・7・8)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	東海大学付属 札幌高等学校	旭川永嶺 高等学校	恵庭南高等学校 札幌第一高等学校
		男子個人	青木一真 (東海大札幌)	春木貴人 (東海大札幌)	梶洸汰(東海大札幌) 東成実(双葉)
		女子団体 1部	札幌日本大学 高等学校	東海大学付属 札幌高等学校	旭川大学高等学校 札幌新川高等学校
		女子団体 2部	伊達 高等学校	苫小牧西 高等学校	札幌厚別高等学校 札幌東高等学校
		女子個人	濱田裕佳 (札幌日大)	関川絢心 (札幌日大)	尾野菜奈加(札幌日大) 本間あいら(北海道栄)
第 38 回 (31・1・8・9)	札幌市 (北海道立総合体育センター)	男子団体	北海道 高等学校	札幌日本大学 高等学校	札幌第一高等学校 東海大学付属札幌高等学校
		男子個人	濱田公佑 (札幌日大)	笹谷佳生 (北海)	外崎容司(札幌日大) 花田倭(東海大札幌)
		女子団体 1部	札幌日本大学 高等学校	北海道栄 高等学校	東海大学付属札幌高等学校 札幌厚別高等学校
		女子団体 2部	札幌第一 高等学校	武修館 高等学校	帯広柏葉高等学校 函館稜北高等学校
		女子個人	関川絢心 (札幌日大)	今野愛菜 (札幌日大)	阿部舞風(東海大札幌) 大塩優里那(北海道栄)
第 39 回 (2・1・14・15)	札幌市 (札幌中央体育館)	男子団体	札幌第一 高等学校	東海大学付属 札幌高等学校	恵庭南高等学校 札幌日本大学高等学校
		男子個人	川井琉生 (旭川大学)	中野豪己 (札幌日大)	清野創二郎(東海大札幌) 田畑虎吾(旭川大学)
		女子団体 1部	札幌日本大学 高等学校	北海道栄 高等学校	札幌厚別高等学校 東海大学付属札幌高等学校
		女子団体 2部	北海道 高等学校	北広島 高等学校	千歳高等学校 遺愛女子高等学校
		女子個人	阿部舞風 (東海大札幌)	高松真子 (札幌日大)	大塩優里那(北海道栄) 高島愛理(北海道栄)

参加校数・人数一覧

ブロック	支部計	種別	全道大会										支部大会							
			参加校数					参加人数					参加校数				参加人数			
			男子 1部	男子 2部	女子 1部	女子 2部	計	男子 1部	男子 2部	女子 1部	女子 2部	計	男子 1部	男子 2部	女子 1部	計	男子 1部	男子 2部	女子 1部	計
道南	函 館	団体	2	4	2	4	12	14	6	11	7	38	2	2	2	6	13	4	11	28
		個人	2	/	3	/	5	3	/	3	/	6	6	/	6	12	24	/	22	46
	室 蘭	団体	3	5	1	3	12	16	7	7	4	34	3	1	1	5	16	2	7	25
		個人	4	/	4	/	8	10	/	10	/	20	8	/	4	12	27	/	12	39
	小 樽	団体	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		個人	0	/	0	/	0	0	/	0	/	0	2	/	0	2	2	/	0	2
札幌	札 幌	団体	16	9	12	14	51	106	28	70	28	232	31	15	19	65	168	60	87	315
		個人	14	/	11	/	25	36	/	26	/	62	37	/	29	66	190	/	110	300
道北	空 知	団体	2	3	1	2	8	12	3	6	3	24	2	1	1	4	12	3	5	20
		個人	1	/	2	/	3	1	/	3	/	4	6	/	2	8	16	/	7	23
	旭 川	団体	3	4	2	5	14	18	11	6	7	42	7	5	2	14	34	20	7	61
		個人	5	/	4	/	9	11	/	8	/	19	1	/	5	6	1	/	7	8
	名 寄	団体	0	2	0	1	3	0	3	0	1	4	0	1	0	1	0	2	0	2
		個人	1	/	1	/	2	1	/	1	/	2	3	/	1	4	4	/	1	5
道東	十 勝	団体	2	3	3	0	8	12	7	15	0	34	4	1	3	8	20	3	18	41
		個人	1	/	2	/	3	3	/	9	/	12	7	/	5	12	24	/	18	42
	才 木	団体	2	2	1	1	6	11	7	7	2	27	4	3	2	9	20	11	10	41
		個人	1	/	1	/	2	2	/	1	/	3	8	/	6	14	26	/	15	41
	釧 根	団体	2	3	2	3	10	12	4	8	3	27	2	2	2	6	12	4	8	24
		個人	3	/	2	/	5	9	/	3	/	12	6	/	6	12	18	/	11	29
計		団体	32	36	24	33	125	201	77	130	55	463	55	31	32	118	295	109	153	557
		個人	32	0	30	/	62	76	/	64	/	140	84	/	64	148	332	/	203	535
		延数	64	36	54	33	187	277	77	194	55	603	139	31	96	266	627	109	356	1,092